

令和 7 年 4 月 2 3 日

明治 14（1881）年以降の福島県内地域別人口をデータ化・公開

福島大学「地域×データ」実践教育推進室では、再発見された『福島県統計書』をデータ化するプロジェクトを立ち上げ、明治 14（1881）～昭和 34（1959）年の福島県の地域別人口・世帯数を学生と共にデータ化し、公開しました。

これにより、既に公表されているデータと組み合わせることで、144 年分の県内の人口動向を把握できるようになりました。

◎背景

- 昨年 7 月に福島県統計課より「福島県統計書」が再発見された旨、ご相談がありました。「福島県統計書」は、明治 14(1881)年以降、ほぼ毎年刊行されており、現在も「福島県統計年鑑」として続いているものです。
- 既に、同課では大正 9(1920)年以降の市町村別人口が公開されていますが、大正 8(1919)年以前や昭和 34(1959)年以前の各年データは公開されておらず、長期動向や戦時中の動向の分析は出来ない状態でした。
- そこで、昨年 10 月に「福島県統計書データ化プロジェクト」を立ち上げ、学生と共に統計書のデータ化を進めてきました。

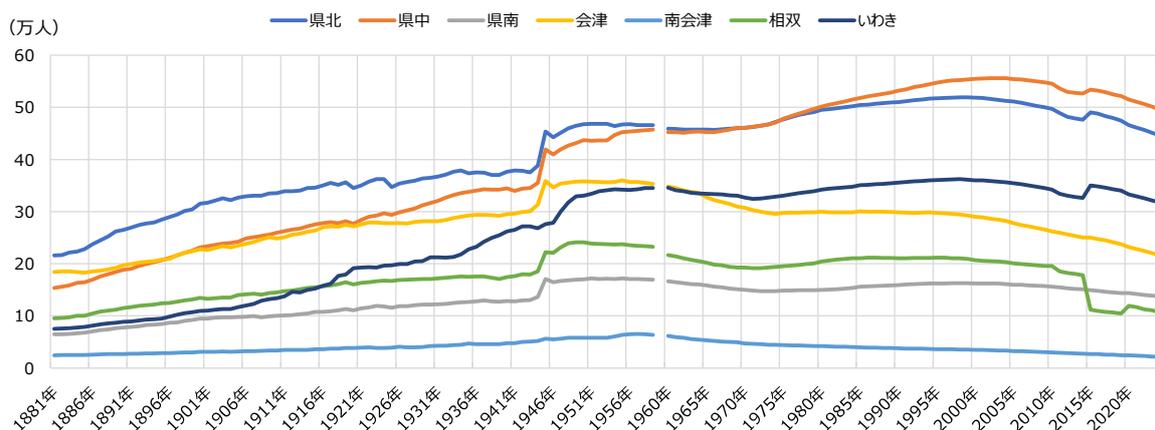
◎成果

- この度、県北・県中・県南・会津・南会津・相双・いわきの 7 地域別人口（総数・男女別）・世帯数をデータ化し、CSV ファイルで公開しました。

<https://region-data.net.fukushima-u.ac.jp/information/536/>



図：明治 14(1881)～令和 6(2024)年の地域別人口推移



(注 1) 1960 年以降は福島県「福島県現住人口調査」より

(注 2) 郡域の変更は加味していない。

(お問い合わせ先)

「地域×データ」実践教育推進室・特任講師

加藤 穂高

電話：024-504-2878

メール：r429@ipc.fukushima-u.ac.jp

明治14（1881）年以降の 福島県内地域別人口をデータ化・公開

令和7年4月23日

国立大学法人福島大学 教育推進機構
「地域×データ」実践教育推進室

特任講師 加藤穂高

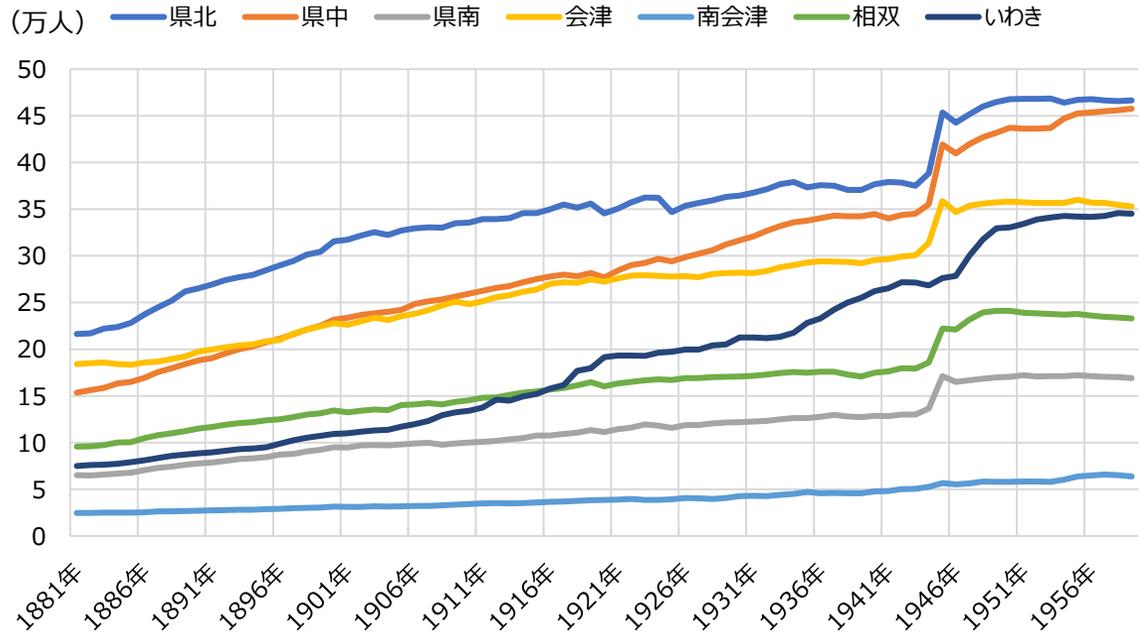
本報告のポイント

- 福島大学「地域×データ」実践教育推進室では、福島県統計課からの相談を受け、『福島県統計書』をデータ化するプロジェクトを立ち上げ、明治14（1881）～昭和34（1959）年の福島県の地域別人口・世帯数を学生と共にデータ化し、この度公開しました。
- 既に県で公表しているデータと組み合わせることで、144年分の県内の人口動向を把握できるようになりました。
- 今回のデータはCSV形式で公開されているため、研究者をはじめ広く一般に活用されることが期待できます。
- 昭和100年・戦後80年にあたり、関連する特集などでも利活用いただけるものです。

2. 本プロジェクトの成果

- 本プロジェクトをとおして、福島県内の近現代の人口動向が明らかになった。
- また、欠落はあるものの男女別人口・世帯数もとりまとめを行い、平均世帯人員の変化や性差も計算可能になった。
- これらの成果は、**福島大学「地域×データ」実践教育推進室HPにCSVファイルとして公開**したため利活用が可能。また、HPにはグラフも掲載し、データの見える化を行った。
(<https://region-data.net.fukushima-u.ac.jp/information/536/>)

地域別の人口推移 (1881-1959)



2025.03.14 活動報告

明治14～昭和34年の福島県 地域別人口データの公開について

この度、福島大学「地域×データ」実践教育推進室では、するプロジェクトを立ち上げました。

今年度は「福島県統計書」のうち第1回(1881(明治14)年分)人口・世帯数をCSVファイル形式で公開します。

なお、福島県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口) (https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045b/15847) 村別人口・世帯数データが公開されていますので、そ

プロジェクトの経緯

2024年7月、福島県統計課より明治14(1881)年から毎年公開された。

統計書は明治政府が、各都道府県に対して面積や人口、都道府県によっては、明治6～7年ごろに「一覽表」といって、全ての都道府県で共通のフォーマットで作成されるが継がられています。福島県では、明治14(1881)年の「

ただし、各年の収録データや記載方法にはばらつきが有い形式にはなりません。そこで、福島大学「地域×データ」しやすい形式にデータ化するプロジェクトを同年10月

第1回(1881(明治14)年分)～第76回(1959(昭和34)年分)郡市別人口(総人口・男女別人口)・世帯数

地域別の人口推移

第1回(1881(明治14)年分)～第76回(1959(昭和34)年分)郡市別人口(総人口・男女別人口)・世帯数(CSV形式)

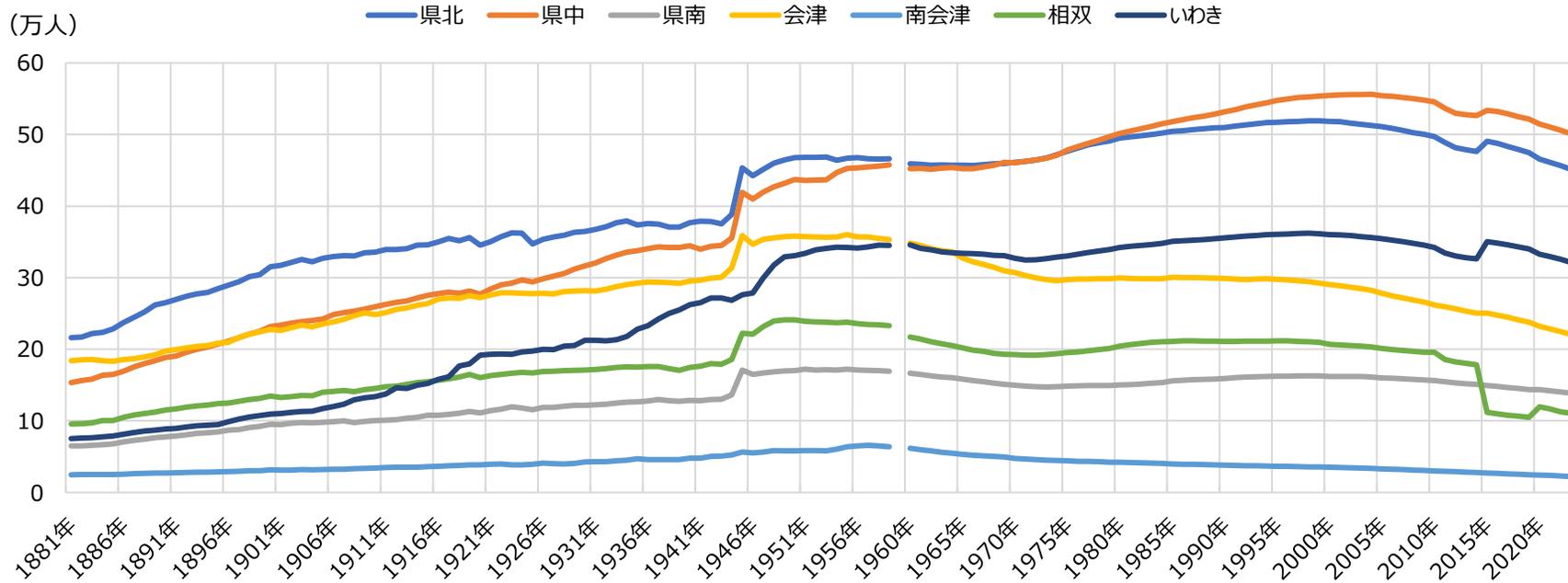
3. 本プロジェクトの意義

- 国勢調査で把握しきれない1919年以前の動向や中間年の人口動向を明らかにした。
- 特に、一般に刊行されていなかった**戦時中の人口動向についても把握することが可能**になった。
- 今回、データはCSV形式で公開を行っているため、研究者をはじめ広く利活用できる状態になった。
- 近代以降の郷土史を調査・分析するにあたっての基礎資料を提供することになると期待される。

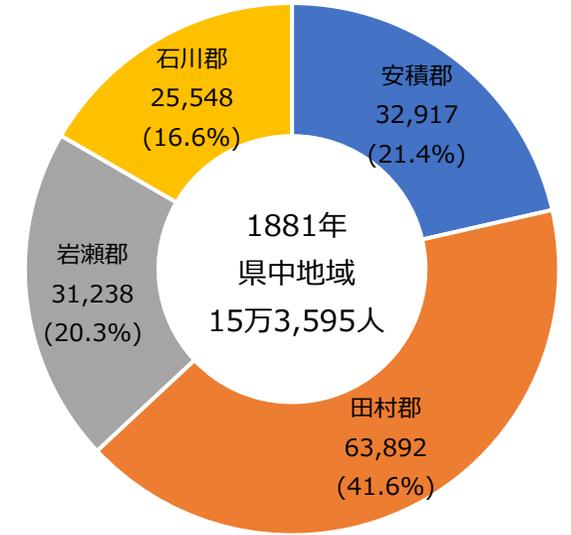
4. 分析例① 近代以降の郡山含む県中地域の発展

- 現在、地域別に人口をみると**郡山市を含む県中地域が最も人口が多くなっている**。
- しかし、1881（明治14）年時点での県中地域の人口は、県北・会津に次いで3番手であった。
 - 1890年代後半には会津地域を抜き、県下2番手となり、1975年ごろに県北地域を抜いている。
- また、県中地域の内訳をみても、現在の郡山市中心部を含む安積郡の人口は21.4%にとどまっており、三春を含む田村郡と比べると、相対的に人口が少ないことが分かる。

地域別の人口推移（1881-2024）



県中地域の人口割合（1881年）



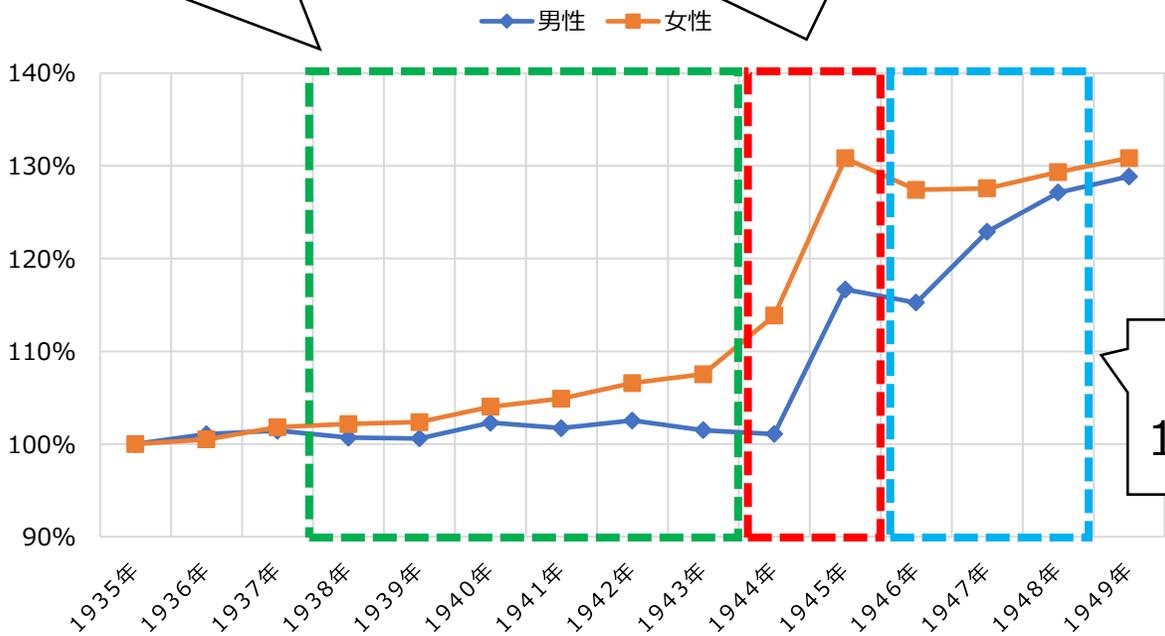
出所：福島県統計書データ化プロジェクト、福島県統計課「福島県現住人口調査」より作成
 注：1960年以降は「福島県現住人口調査」の数値を利用した。地域区分が若干異なるため、厳密に前後の比較はできないことに留意。

4. 分析例②：太平洋戦争中の人口動向：疎開・出征が地域に及ぼした影響

- 今年は戦後80年を迎えるが、終戦前後の人口動態から福島県における戦争の影響も推察が可能になった。
- 例えば、県全体の人口推移を男女別で見ると、戦中・戦後にかけて人口動向に差があることが分かる。

日中戦争開戦（1937年）の翌年以降、男性人口の伸びが弱まる

疎開が本格化した1944年から女性人口、翌45年には男性人口も急伸



復員がおおむね完了した1948年に男女差はようやく縮小

注：1935年を基準としたときの人口

5. 補足

- 本データセットは、1959（昭和34）年までですが、福島県統計課で公開している「福島県現住人口調査」の時系列データと合わせることで2024（令和6）年までの144か年分の地域別推移を見ることができます。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045b/15847.html>

福島県現住人口調査のページ

福島県の推計人口（福島県現住人口調査）の過去の結果

このページでは、福島県の推計人口（福島県現住人口調査）の過去の結果を掲載しています。

以下のデータは、[オープンデータの利用規約](#)に基づき御利用いただけます。

過去の結果の時系列データはこちらです。

	集計月日	集計地域	Excelファイル	CSVファイル
世帯数、人口 (年次、大正9年～)	各年10月1日現在	福島県	世帯数、人口 [Excelファイル/12KB]	世帯数、人口 [その他のファイル/3KB]
世帯数、人口、人口動態 (月次、平成11年～) ※	各月1日現在		世帯数、人口、人口動態 [Excelファイル/678KB]	世帯数、人口、人口動態 [その他のファイル/161KB]
人口動態 (年次、昭和45年～)	各年(1月～12月)		人口動態 [Excelファイル/15KB]	人口動態 [その他のファイル/5KB]
各歳別人口 (月次、平成7年～)	各月1日現在		各歳別人口 [Excelファイル/2.08MB]	各歳別人口 [その他のファイル/1.34MB]
5歳階級別人口 (年次、大正9年～)	各年10月1日現在		5歳階級別人口 [Excelファイル/266KB]	5歳階級別人口 [その他のファイル/43KB]
市町村別人口 (年次、大正9年～)	各年10月1日現在	市町村 旧市町村	市町村別人口 [Excelファイル/924KB]	市町村別人口 [その他のファイル/52KB]
市町村別世帯数 (年次、大正9年～)	各年10月1日現在		市町村別世帯数 [Excelファイル/710KB]	市町村別世帯数 [その他のファイル/34KB]

※月報が公表されていない月のデータは、国勢調査の結果から補完しています。
国勢調査の速報値を基に推計された月（平成12年11月～平成13年9月、平成17年11月～平成18年8月）の月報データは、国勢調査の確定値を基に推計した値に修正して記載しています。

出所：福島県HP